

水産関連施設の整備

明日へと響け 復興のつち音

このコーナーでは、石巻の復興や復旧の様子を紹介します



▲市場は鉄骨2階建て、延床面積1,727㎡です。



▲荷さばき室



▲牡鹿製氷冷蔵庫



▲写真右側部分が市場、左側が製氷冷蔵庫です。震災前は別棟だった両施設を合築することにより、活魚の鮮度保持機能の向上を図っています。

石巻市水産物地方卸売市場 牡鹿売場・牡鹿製氷冷蔵庫 (鮎川浜丁55)

東日本大震災からの復興を目指し、再建整備を進めてきた石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場および牡鹿製氷冷蔵庫が完成し、4月15日(金)に完成式典を開催しました。



▲市場1階には、荷さばき室、放射能検査室のほか、ICカードによる自動型の水販売装置や接岸した漁船に直接砕氷を搬送する設備等を整備しました。



完成式典・内覧会の様子

石巻市水産業担い手センター (荻浜字穴入1-4)

漁業の担い手不足を解消するために、市が委託事業で実施する石巻市水産業担い手センターの整備が完了し、4月27日(水)に開所式を開催しました。



▲センターは、空き家となっていた木造2階建ての民家を活用して整備しました。新規漁業者の研修や、漁業従事者の短中期的なシェアハウス機能を持った施設です。